

知道 CHIDO-KAIHO 会報

90

編集 知道会広報委員会
〒310-0011水戸市三の丸3-10-1
茨城県立水戸第一高等学校内
発行人 鬼澤邦夫
発行日 平成29年5月1日
通巻 第90号
メール chidokai_mito@chidokai.jp
H P www.chidokai.jp

目次	海外派遣プログラム	1
	一高だより	異動・進学状況・入学状況 4
	PERSON	直木賞と本屋大賞に輝く 恩田 陸さん 5
	学年・地域等同窓会	6

平成28年度 生徒海外派遣プログラム実施報告 生徒40名がボストン・ニューヨークへ

今回から、派遣先をアメリカに変えて実施された「海外派遣プログラム」。生徒たちが2週間にわたりボストン・ニューヨークで研修し、肌で感じ、学んだことをお伝えします。

平成29年3月8日から3月21日の14日間、約半年に渡る事前研修を終えた40名（男子16名、女子24名）の生徒が、ボストン・ニューヨークにて研修を行って参りました。

平成25年度から知道会のご支援をいただいて始めた「海外派遣プログラム」。平成25年度から27年度は、シンガポールで研修を行い、現地の生活、文化、宗教などにおいて日本とは全く異なる世界を体験。

現地の高校や大学訪問、本校OBの方々が勤務する日系商社や大使館を訪れ、グローバル社会における日本人の在り方について深く考える機会を得ました。

そして、平成28年度からは、これらの体験に加え、世界の経済や学問の中心となっている場所で、

英語学習により焦点を当てる研修を求め、研修先をアメリカ東海岸ボストン・ニューヨークへと変更しました。

研修先をアメリカに

このアメリカ研修の目的は、人生で最も多感な時期である高校時代に、海外の名門大学の学生や現地の高校生との交流を通して、異なった価値観や文化を体験し、将来の進路や方向性を考えるきっかけとすること。

また、現地でのディスカッションやプレゼンテーション、事前事後研修等を通して、英語力、論理的批判的思考力やコミュニケーション力、自らチャレンジし主体的に取り組む力などの21世紀型ス

キルを育み、将来、世界でたくましく活躍できる人材を育成することにあります。

今回の研修では、ニューヨークで活躍されている水戸一高OBの川原井司様（昭60卒）と船山和泉様（昭60卒）から、現地でのお仕事



ボストン美術館にて

や生活、人生観などをお話いただきました。

また、国連本部や領事館で働いている方々と交流する機会もあり、海外でチャレンジされている先輩方の生き方や世界観に触れる貴重な体験が得られました。

ボストンではホームステイを経験し、文化の多様性を肌で感じ自国の文化についても深く考えたようです。



国連本部前



国連ツアー

※次ページに続く

学生・研究者との交流も

そして、世界中からエリートが集まるハーバード大学やマサチューセッツ工科大学、コロンビア大学、イエール大学を訪問し、夢に向かって切磋琢磨している学生や研究者等との交流を通し、自身の価値観を広げ、将来のビジョンを考えるきっかけとすることができました。

さらに、ボストンでの研修は、ハーバード大などの現地学生に同行してもらい、ディスカッションなどを通して、自分の意見を伝えるコミュニケーション力も鍛えることができました。最終日には、研修を通して学んだことを英語で口頭発表することで、現地での研修をしっかりと振り返り、帰国の途につきました。

次に、参加した生徒の感想をいくつかご紹介いたします。



現地大学生とのディスカッション

多岐にわたる生徒の感想

・予想通り、自分の英語は相手に通じないことも多くあり、ましてや相手の英語は単語すら聞き取れないことも多くあった。何度も聞き返した自分が嫌になった。しか

し、私は曖昧にして頷いて聞き流してはいけないことを学んだ。

・日本語と英語の二つの言語では世界では十分に活躍することは難しいと感じた。(中略)他の言語が如何に大事かを知り、それらがより身近なもののだと考えるようになりました。

・自分で狭めてしまっていた視野を海外にまで広げることで、将来の可能性も広げられたのが良かったです。

・英語のコミュニケーション能力の向上は言うまでもないが、物事の見方や考え方など精神面での成長が大きかったように思う。

・とてつもなく広い世界を相手にする大学生を目の前にして、自分の視野の狭さを痛感させられました。

・海外に行って強く感じたことは、基本的なことは日本でもアメリカでも、どこでも変わらないということです。

・生徒一人一人が自分の意見をしっかりと持ち、それらを発言できることはとても素晴らしくこれから社会人になる私たちにはとても大切なことだと感じた。

・会話で大事なものは完璧な英語ではなく、伝えようとする熱意なのだ気づいた。

・世界の人とつながり、一緒に何かを成し遂げるためには、英語を勉強することより大事なことがあると気づいた。それは、自分の意見や考えに素直



コロンビア大学キャンパスツアー

になること、そのためには信じられるのは自分だけであること、そして自分の考えを信じるためには違う考えを持つ人の話も心から聞いて理解しなければいけないということだ。

・私たち日本人は、自身のこのすばらしい日本文化に、より興味を持ち、保護してそれらを外国や後世に伝えていく責任があると改めて感じた。

・今回私が学んだことは数知れず、しかし、中でも自由と、それに伴う責任について考えさせられた。

このように、英語学習、価値観、グローバル社会での自分自身の在り方など多岐にわたる感想を持った生徒が多く、期待以上の成果を得られました。今後、これまでの研修の成果を様々な機会を通して皆様に報告させていただきたいと思えます。

(英語科 荒山奈緒美 教諭)



現地高校訪問

母校創立140周年記念事業について

水戸一高は平成30年に創立140周年の節目の年を迎えます。

「至誠一貫」「堅忍力行」の校是とともに歴史と伝統を受け継ぐ生徒たちの活動を支援し、母校のより一層の発展を図るため、下記の事業内容が代議員会にて承認されております。

(1) 記念式典・記念祝賀会の開催

平成30年11月17日(土)

(2) 水戸一高年表(平成20～29年分)の作成

(3) 各教室への電子黒板の設置(全20教室程度)

(4) 生徒海外派遣事業への支援(平成30年度から10年間)

この事業推進のため、目標金額を

3,000万円として昨秋から会員の皆様に募金をお願いしております。現在目標額のおよそ半ばに達しておりますが、会員間でも広くお声がけをいただき、なお一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

振込票はこの会報に同封しております。既に募金をいただいている方にも同封しておりますが何卒ご容赦ください。

第65期第37回代議員会

第65期（平成27年10月～平成28年9月）第37回代議員会が、「知道会会員の集い」に先立ち、平成28年11月12日（土）13時30分から水戸京成ホテルにおいて開催されました。審議等概要は以下の通りです。

- (1) 第65期事業報告ならびに学年・地域・職域知道会の活動状況が栗原幹事長から報告され、了承されました。
- (2) 第65期決算について根本財務委員長から、続いて監査結果が坂本監事から報告され、承認されました。
- (3) 第66期の事業計画案が栗原幹事長から説明され、原案通り承認されました。
- (4) 第66期の予算案が根本財務委

第66期 収支予算書

自平成28年10月1日
至平成29年9月30日

収入の部 (単位:円)

科目	予算額 a	前期予算額 b
年会費	8,500,000	8,500,000
卒業生入会金	1,600,000	1,600,000
寄附金収入	500,000	500,000
会員の集い収入	2,500,000	2,500,000
受取利息	20,000	20,000
特別積立金取崩	2,500,000	2,500,000
義援金会計から繰入	1,200,000	1,200,000
雑収入	50,000	50,000
当期収入合計	(16,870,000)	(16,870,000)
前期繰越金	(261,134)	(142,888)
収入の部合計	(17,131,134)	(17,012,888)

支出の部

科目	予算額 a	前期予算額 b
運営費	(13,810,000)	(13,230,000)
会員の集い費	2,500,000	2,500,000
会議費	100,000	100,000
事務局運営費	1,900,000	2,000,000
通信費	3,500,000	3,100,000
消耗品費	200,000	80,000
旅費交通費	150,000	150,000
渉外費	100,000	100,000
支部強化費	450,000	450,000
振替手数料	600,000	600,000
印刷費	4,100,000	3,900,000
リース料	210,000	250,000
事業費	(480,000)	(675,000)
総務委員会費	20,000	65,000
財務委員会費	20,000	20,000
広報委員会費	180,000	180,000
名簿委員会費	10,000	10,000
親睦委員会費	150,000	200,000
女性会員活性化費	100,000	200,000
母校助成費	(2,400,000)	(2,350,000)
卒業記念品費	500,000	500,000
大会補助金	300,000	250,000
卒業生褒賞費	400,000	400,000
海外派遣助成費	1,200,000	1,200,000
特別積立金繰入	(0)	(0)
予備費	(441,134)	(757,888)
当期支出合計	(17,131,134)	(17,012,888)
次期繰越金	(0)	(0)
支出の部合計	(17,131,134)	(17,012,888)

※1 母校が実施する「生徒海外派遣プログラム」に対する義援金を原資とした助成

員長から説明され、原案通り承認されました。

- (5) 「夜のピクニック」観劇会支援募金についての収支報告と、残金を140周年記念事業に繰り入れた旨の提案があり、承認されました。
- (6) 母校創立140周年記念事業につ

いて栗原幹事長から概要が説明されました。

- (7) 役員改選について、栗原幹事長から指名委員会の内容が報告され、原案通り会長に鬼澤邦夫氏（S38卒・留任）、監事に篠原勉氏（S48卒・留任）、小野瀬益夫氏（S51卒・新任）が選任されました。

第65期会員の集いが賑やかに開催されました

平成28年11月12日（土）、水戸京成ホテルにおいて「知道会会員の集い」が開催されました。昨年は昭和60年卒・平成7年卒・平成17年卒を幹事学年に、当日は天気にも恵まれ360名を超える参加申込みがあり、賑やかな会となりました。

3月に実施された「生徒海外派遣プログラム」について参加生徒のうち代表8名と引率教員による報告に続き、講演会では毛塚博之氏（昭60卒）の司会進行のもと川上篤氏（昭60卒）により「剣道のススメ～生涯剣道を求めて～」と題して熱意溢れる講演が行われました。

懇親会は岡村太郎氏（平7卒）の司会により進行。鬼澤会長（昭38卒）、鈴木学校長（昭52卒）、橋本昌茨城県知事（昭39卒）の挨拶の後、後藤顧問（昭19卒）の発声により乾杯、懇談となりました。

懇親会では堀義人氏（昭56卒）・

川崎篤之氏（平8卒）によるバスケットボールチーム「茨城ロボッツ」のPRや水戸芸術館の本間康太郎氏（平13卒）による「夜のピクニック」観劇会報告があり、また小川瞳氏（平17卒）によるピアノ演奏を楽しみました。終盤では浅野茂生氏（昭59卒）からアジア知道会開催の案内、「東京知道会 同窓の集い」について幹事の昭63卒メンバーから案内があり、幹事引継ぎでは今回の幹事学年（昭60・平7・平17卒）から次回の幹事学年（昭61・平8・平18卒）へ幹事の印である軍配と法被が受け渡されました。

最後に土屋良太氏（平18卒）の指揮により一同声高らかに校歌を斉唱し、当日出席の最年少者であった平27卒の佐々木歩美・村上柚果里 両氏の音頭による三本締めをもって閉会となりました。

今年の会員の集いは11月18日（土）開催

今年の会員の集いは平成29年11月18日（土）水戸京成ホテルにて行います。幹事学年は昭61・平8・平18卒です。5月から実行委員会をスタートしますが、幹事学年にあたる皆さんは奮ってご参加下さい。最近卒業間もない若い会員や女性会員の参加も増えて、一層活気に満ちています。皆さまのご参加をお待ちしております。詳細につきましては

知道会HPと次号の知道会報にてお知らせいたします。



EVENTS

平成28年

10月

2日 水戸一高昭和41年卒50周年記念同窓会

8日、9日

水戸一高歩く会（東海コース）

16日 にさし会同窓会

22日 母校創立140周年記念事業第1回実行委員会
第66期第1回幹事会

26日 総務委員会平成28年度「集い」第6回実行委員会

11月

6日 日立知道会 総会・懇親の集い

12日 知道会会員の集い・代議員会昭60、平7、平17年卒同窓会

15日 二八会（昭和28年卒学年同窓会）

20日 瓜連知道会定時総会

26日 桜川市知道会総会

水戸一高三三会喜寿同窓会

12月

3日 西日本水中一高会 総会・懇親会

6日 財務委員会

18日 常陸太田知道会 公開講座 & 望年会

平成29年

1月

20日 親睦委員会

2月

4日 第66期知道会幹事会・合同委員会

23日 水戸一高「知道プロジェクト」発表会

25日 東京知道会同窓の集い

28日 平成28年度卒業生「知道会入会に関する説明会」

3月

1日 平成28年度 知道会褒賞授与式

水戸一高卒業式

広報委員会

4日 水戸一高三四会同窓会

11日 五軒知道会総会

18日 アジア知道会（開催地バンコク）

25日 水戸知道会総会

水戸一高吹奏楽団第41回定期演奏会

29日 総務委員会「集い」反省会・引継会

4月

7日 水戸一高入学式

8日 第14回OBミニ歩く会&お花見会

22日 知道会第66期第2回幹事会

平成29年度定期人事異動

次の方々が異動された。

1 退職（教科および在職年数）

石川 格（副校長、3年）
高校教育課へ（再任用）

岡部 浩二（事務室長、2年）
財務課へ（再任用）

森 主計（保体、13年）
太田第一高校へ（再任用）

戒能 彩（英語、2年）
豊崎 利明（数学、2年）
水海道第一高校へ（非常勤）

鈴木 雅晴（社会）

郡司 法子（保体）
勝田第二中学校へ（講師）

住谷 光一（社会）

廣木 常之（嘱託員）
市毛小学校へ（嘱託員）

2 転出

梶 清史（教頭、2年）
大子清流高 校長へ

萩谷 一弘（国語、10年）
石岡第二高校へ

木城 知則（国語、10年）
高校教育課へ

寺内 芳江（国語、6年）
茨城東高校へ

友常 格（社会、11年）
勝田高校へ

小林 努（社会、10年）
取手松陽高校へ

川久保典昭（社会、12年）
高校教育課へ

根田 修（理科、11年）
並木中等教育校へ

伊藤 直子（事務、2年）
福利厚生課へ

3 転入（学校名は前任校）

金田 郁夫（副校長、水戸三高）

青木 睦人（教頭、明野高校）

野上 和也（国語、那珂湊高校）

廣木 敦子（国語、日立北高校）

森 朋恵（国語、友部高校）

田中 浩一（社会、並木中等教育校）

渡邊 卓（社会、友部高校）

石塚 章夫（数学、牛久栄進高校）

櫛田 雅彦（理科、茨城東高校）

斉藤 健次（保体、真壁高校）

小野瀬勇一（英語、龍ヶ崎第一高校）

柏 雄司（社会、小瀬高校）

荒貴 竜斗（社会、新規採用）

青戸 浩（社会）

高野 真一（保体）

高麗 良男（事務室長、水戸聾学校）

寺門由美子（事務、小瀬高校）

小瀧 洋行（嘱託員）

入試結果と進路状況

主な大学の合格者数を以下に記す。（ ）内は現役合格者数。

○国立大学

北海道大 11(5)

東北大 34(26)

茨城大 31(24)

筑波大 30(16)

千葉大 12(7)

東京大 16(12)

東京工業大 2(2)

一橋大 3(1)

名古屋大 2(0)

京都大 5(3)

大阪大 5(1)

○私立大学

青山学院大 15(12)

慶應義塾大 32(12)

上智大 12(3)

中央大 75(26)

東京理科大 60(18)

法政大 38(19)

明治大 102(35)

立教大 33(22)

早稲田大 54(24)

○医学部医学科

国公立 8(3)

私立 18(3)

（平成29年4月7日現在）

平成29年度入学状況

平成29年度の茨城県立水戸第一高等学校の入学者は、男子180名、女子144名の324名で、過去2年と比べると女子がやや多い学年構成となりました。

4月7日の入学式では、担任の呼名に応じる新入生の張りつめた声が力強く響き、たいへん頼もしく感じられました。

新入生には、138年の伝統を継承しつつも、本校の新たな歴史を創造する力となることを期待しております。また、将来、社会の各分野においてリーダーシップを発揮すること

のできる高い見識を得るため、人間としてバランスのとれた成長を遂げる3年間にしてほしいと願っています。我々学年団も全力で関わる所存です。知道会の皆様におかれまして

も、新しい後輩たちを温かく見守っていただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(1 学年主任 関根教諭)

PERSON

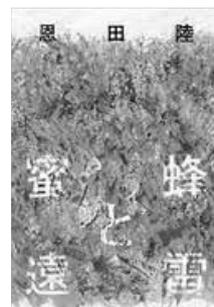


直木賞と本屋大賞に輝く 恩田 陸さん(昭58卒)

「蜜蜂と遠雷」(幻冬舎)で直木賞と本屋大賞の二冠に輝いた恩田陸さん(昭58卒)に作品についてや、高校当時の思い出を語ってもらった。

本作は地方の国際ピアノコンクールを舞台にした音楽小説。ピアノが家がない16歳の塵(じん)、かつて天才少女として名をはせた20歳の垂夜…。個性豊かな音楽家たちが繰り広げる青春群像劇。

聞き手 菊地克仁(広報委員 平13卒) 2017年3月29日



○改めて直木賞受賞の感想を

●ホッとしたというのが一番。皆さんの期待も高かったので、これで落としたら洒落にならないなと。本当に大きな賞なんだなって実感しました。贈呈式の日には同級生がたくさん駆けつけてくれ、シンガポールからもわざわざ来てくれました。

○受賞作品について。

●長期連載で大変だったので本当に終わってよかったです。“音楽を文章で鳴らす、ことの難しさは予想通りでしたが、書いてみたら意外と相性が良かった。読者の頭の中で、おのおの音を鳴らせるので、小説で音楽を書くというのは思ったよりも向いていたなって思いました。

○高校の時はどんなキャラクターでした？

●中三の時に仙台から引っ越ってきて、新荘に住んでました。子供の頃から人見知りだったんです。それが高校に入って初めて人と話すのが面白くなって思うようになった。「優等生と思われるのが嫌だ」「でも良い大学に行きたい」とか実はみんな同じようなこと考えているんだねって思ったし、将来の事とか本音を高校になって初

めて話しました。転校が多かったので、人間観察は子どもの時から染みついていることが小説を書くのに役立つのかもしれません。

○どんな高校生活を送っていましたか？

●美術部では油絵を、知道ではエッセイみたいな物を書いていました。学園祭の時だけ軽音楽部。超文化系でした。因数分解で挫折した口なので、2年の時には私立文系に行くことに決めてました。学校帰りに喫茶店に行ったり、川又書店とつるやブックセンターをはしごしてました。音楽はケイトブッシュばかりずっと聞いてました。入学から卒業まで同じ学校で過ごすのは水戸一高が初めてだったから、とにかく楽しかった。夏になると登校時に納豆工場からおいがしたのを覚えてます。いつも遅刻ギリギリだったので本城橋の上を走って渡ってました。

○当時どんな本を読みましたか？

●立花隆の「宇宙からの帰還」を読んで感動しました。学校で借りたのか兄貴から借りたのか覚えてないけど、もしかしたら図書室にまだあるかもしれない。SFはよく読んでました。中学の時から読書日記を付けていて、ここがよか

ったとか、印象に残ったフレーズなどを書き留めてます。今も付けてるんですが、習慣化してしまっただけでやめられないですね。40年くらい続けてますから。

○高校生活で今の恩田さんに繋がるものはありますか？

●「夜のピクニック」はまるごと一高をモデルにしたわけですし、人格形成に影響を与えたと思います。インスピレーションの源でもあります。今でも付き合いのある友達がいて、定期的に会ってます。

○在校生、卒業生にメッセージを

●(在校生へ)卒業して時間が経てば経つほど分かるんですが、良い学校だと思えます。誇りにして下さい。一高に来れば、世の中にはこんなにもできる人がいっぱい居るんだって思うはずですよ。互いに刺激しあえる、一生つきあえる友達を見つけて下さい。

(卒業生へ)「一高出身です」と言っていて、OBに会うとすごく嬉しい。私自身、誇りになっている。これからは母校の名を汚さぬよう、お互い精進しましょう。

この記事のほか、恩田さんのお話を知道会ホームページに掲載しています。

「二八会」千秋楽へ -66名参加で盛会裡に

昭和28年卒の学年同窓会「二八会」が昨年11月15日最終回を迎えました。学年幹事会では、数年前から解散の潮時を探る意見が交わされていました。前後他学年も、多くは卒業後60年目の78歳前後で区切りをつけ、その後はそれぞれ工夫で交流しているのを聞き及んでいたからです。

とは言え、最終回という響きは物悲しく、参加者からは解散を惜しむ声も聞かれました。しかし解散と云っても、むしろ気の置けない仲間同士の自由で小回りのきく交歓に切り替えようというのが、幹事会の一致した意見でした。

振り返れば28年卒は、戦争と学制改革に翻弄され続けてきました。戦意高揚と皇国民錬成のために改組された「国民学校」の最初の入学生となり、空襲に怯えながら敗戦を迎えると出来立ての「新制中学」に進み、初の高校入試で「新制高校」水戸一高に入学しました。すべて第一回、ちゃきちゃきの「新制っ子」でした。

迎えてくれたのは、「水中」入学後に新制高校に転じた過渡的「中高一貫」の眩しい先輩たちでした。創立以来の女子生徒を交えた3年ぶりの新入生、上級生が廊下から好奇の目で教室を覗く姿を目撃したものでした。

多感な時期に多くのことを学び多くの人に会いました。歳を重ねるごとにあの頃を思う気持ちが募るのは、一種の帰巢本能かもしれません。

「ありがとう水戸一高！」の言葉を添えて、幕を引きたいと思います。
(学年幹事 秋山亘)



昭41卒 50周年記念同窓会

昭和41年に水戸一高を卒業して50年目に当たる昨年の10月2日、卒業50周年記念同窓会を開催しました。水戸プラザホテル1階のガーデンルームを1日貸しきり、同窓生による講演会(5名)や音楽会(斑目加奈さん・川島志乃舞さん)などの記念イベント、3時間に及ぶ懇親会、そして2次会と多彩な催しを実施しました。

戦後のベビーブームの最初の世代

として500名を越える同期の卒業生がいるとはいえ、参加者104名の元気な姿を確認できたことは、大きな喜びでした。また、石橋先生・根本先生・高橋先生の3名の恩師のご参加は、今もお仰ぎ見ることのできる存在に、大きな安堵感を味わうことができました。

また、同時に50周年記念誌も発行し、好評を得ることもできました。

今後も卒業60周年、70周年を目指して頑張ることを誓い、盛会のうちに幕を閉じました。

文責 舛井



33会 喜寿を祝う同窓会

昭和14、15年に生を受けた我々は、母校が甲子園出場を果たした翌年一高生となった。そして昭和33年3月417名が卒業。現在物故者82名、連絡不能者27名。そんな我々の喜寿を祝う同窓会が平成28年11月26日、三の丸ホテルに、知道会会長鬼澤邦夫常陽銀行会長と母校の鈴木一弘校長をお迎えし、83名の出席を得て開催された。

遠くは芦屋、仙台からそして京浜地区からも多数。鬼澤会長の「野球こそわが人生」と題する、我々の青春期と同時進行で語られたプロ、アマ界の秘話を交えての野球話、鈴木校長の現代水戸一高話などをいただき、結成50年余を誇る趣味の域を超えた同窓生4名によるハワイアンバンド演奏をBGMに大いに盛り上がり、お互い元気で喜寿を迎えられたこと、今日も元気に酒を飲めたことを喜んだ。

なお些少ではあるが、母校創立140周年記念事業の一助にと、出席者並びに趣旨に賛同された16名の欠席者からの合わせて20万円を知道会に託することが出来た。

(4組 大内紀典)

桜川市知道会

桜川市知道会は平成28年11月26日に桜川市の湖畔閣で年度総会・懇親会を行いました。来賓を含め、参

加者は27名でした。市内の30歳以上の卒業生、ときには隣接の市の会員の方々、約100名に声をかけ、会費を納めていただいている会員は50名ほどになっています。ただ参加者のほとんどが昭和20~50年の卒業生であり、50歳代以下の卒業生の参加をどのように増やしていくかが課題です。

総会終了後には、菌類の写真家、現在「糞土師」を名乗る本会員、伊沢正名氏の「ウンコはご馳走」、土中微生物とウンコの食物連鎖における新たな位置づけについての講演がありました。色々な意味でインパクトのある内容のお話でした。懇親会ではここ数年、昔の話で盛り上がるばかりでなく、迷走する今の国や地域での我々卒業生の役割・責任に触れる話が多く聞かれています。「立てよ水高健男子(女子も)立つべきときは今なるぞ」

富岡 彰(昭48卒)



西日本水中一高会

昨年12月3日(土)大阪第一ホテルにて、西日本水中一高会の総会が開催されました。

鈴木一弘水戸一高校長、栗原英則知道会幹事長のご臨席をいただき、会員30名の参加を得ての開催でした。

ご来賓からご挨拶をいただいた後、当会顧問の久大保治氏(昭22卒)からも挨拶をしていただきました。母校の100年史を引用してのお話や普段考えておられることを披瀝いただき、関西では是非訪れて欲しい茨城県人ゆかりの地として敦賀・松原神社、京都護国神社、高台寺を紹介いただきました。

本会では昨年、「若手講演会」という新しい企画を実施しました。これは、若手の会員の方々から自らの学びの成果を発表する場を提供することで、自らの成長につなげていてもらいたいという趣旨で企画したもの



で、これからも継続していく予定です。
 また、茨城の地を離れ関西の大学に進学された学生の方々の歓迎会を開催しておりますが、今後も接点を持たせていただきながら、応援して参りたいと思います。
 中崎 好文 (昭45卒)

東京知道会「同窓の集い」

2月25日(土)、恒例の「同窓の集い」を大手町サンケイプラザにて開催、263名の参加者が楽しいひとときを過ごしました。今回の幹事学年は昭和63年卒。昭和卒業生として有終の美を飾るべく準備に奮闘致しました。

第1部の年次総会では役員改選があり、副会長・幹事長等の交代が承認されました。

第2部の講演は幹事学年の青山清英氏(日本大学文理学部教授。日本コーチング学会理事長など公職多数)による「私のコーチング学」。オリンピック等のコーチをされてきた経験、科学的知見をお話し頂き、他の分野にも通ずる「コーチング」について学べた貴重な時間でした。

第3部の懇親会では卒業生の酒蔵が造った日本酒を楽しみながら話に花が咲きました。最後は次年度代表幹事(平成元年卒。いよいよ平成突入!)へと襷を渡し(写真)、会は和やかに開きとなりました。



次回は2018年2月24日(土)です。多くの参加をお願い致します。
 代表幹事 仁衡 琢磨 (昭63卒)

剣道部OB会「新春稽古会」報告と学校創立140周年記念「大同窓会」予定

剣道部OB会は学校創立130周年の平成20年度に「剣道部大同窓会」を開催してから、母校応援や相互親睦を深めるため、毎年正月に「新春稽古会」等を開催してきました。その間、平成26年には35年振りの男子団体関東大会出場壮行会を開催でき、現役部員を支援してきました。

さて、平成29年1月7日(土)によく整理整頓された剣道場に、宮田忠幸会長、高山能昌・陽好副会長ほかOB25名が集結しました。当日は、歴代顧問の野澤龍之先生、前校長の小田部幹夫先生も駆けつけて頂きました。顧問の小澤剛先生から活動状況の報告とOB会からの支援に対する御礼の言葉がありました。現役部員と一緒に50名を超える剣士の有意義な新春稽古会が盛大に開催されました。稽古後は水戸駅前「本陣」で来年度の学校創立140周年記念を踏まえ「剣道部大同窓会」開催を決めたところです。

次回は平成30年1月7日(日)17:00より水戸京成ホテルで剣道部大同窓会を行います。早めに通知文を発送し、知道会HPにも詳細を掲載しますので、多くのOBの参加を期待します。

(剣道部OB会幹事長
 小田倉康家 (昭45卒))



書籍紹介

図解 SCMのすべてがわかる本

石川和幸 (昭59卒) 著
 日本実業出版社/1800円(税別)

ムダをなくして儲け続けるサプライチェーン“マネジメント”構築の方法を詳しく紹介。



在庫マネジメントの基本

石川和幸 (昭59卒) 著
 日本実業出版社/1700円

企業の収益性と持続性を確保するために重要な“在庫管理”のすべてがわかる1冊。



必携 入試化学百科

大久保 清 著
 学研プラス/2592円(税込)

長年の教師経験をいかし、受験化学で出題される可能性の高い項目を詳細に解説。



茨城の城門

小野寺 靖 (昭34卒) 著
 1600円(税別)

水戸城築城門をはじめ県内外に残る城門、陣屋門を詳細に調査した研究書。



会沢正志斎の生涯

安見隆雄 (昭33卒) 著
 錦正社/2300円(税別)

激動の時代を生き抜いた後期水戸学の大成者会沢正志斎82年の生涯に迫る。



香梅の門 一桜田志士外伝一

小貫和也 (昭33卒) 著
 文芸社/900円(税別)

今年は大政奉還から150年。幕末の水戸藩の軌跡を、將軍慶喜と、桜田門外の変に参加した水戸浪士・広木松之介との縁にスポットライトを当てながら描く歴史ロマン。



プロバスケ 茨城ロボッツで活躍する 大友隆太郎選手 (平25卒)

皆さん、今回は我が高初のプロバスケットボール選手を紹介します。

平成25年卒の大友隆太郎さん23歳です。笑顔がさわやかなシャイな好青年。バスケット好きの父親に連れられ地元元のバスケットボール少年団に入ったのがきっかけでした。

一高に入りバスケット部に所属した後、社会人クラブにも所属し高いレベルの練習を重ねたそうです。とにかくバスケット漬けの毎日で勉強は嫌いだっただけですが、やるなら最強の関東大学リーグ一部にと、3年時に一念発起。見事現役で筑波大学に合格。筑波大学はバスケット推薦枠が少なく一般入試選手にも活躍



するチャンスがありました。そして全日本大学選手権3連覇の偉業。

高校時代の思い出はやはり歩く会。ある年の後半20キロ競争。バスケット部の仲間には負けまいと飛ばしすぎ、途中で足がつかずやむなく歩きでゴールしたそうです。また、当時茶髪を担任の先生から坊主か黒髪にするように注意され、やむなく間をとって茶髪の坊主にしたそうです。

今後の夢は、まずは茨城ロボッツのB1昇格。得意の3ポイントシュートに磨きをかけ、あらゆる場面でも状況に合わせてゲームメーカーになれるようがんばりたいと、力強く抱負を語ってくれました。

最後に知道会の皆さんへのメッセージ。面白いプレーをして、みる人をワクワクさせる選手を目指します。ぜひ会場に足を運んでいただき応援してください、とのことでした。皆さん、大友選手、茨城ロボッツへの熱いご声援をよろしくお願いいたします。

(広報委員 内藤 学)

総務委員会

平成29年会員の集い実行委員会のスタートとして、平成28年集い反省会並びに幹事引継ぎ会を平成29年3月29日(水)19時から水戸市内にて開催しました。正副幹事長、知道会事務局、総務委員、平成28年の集い学年幹事(S60、H7、H17卒)と、平成29年の集いを支える新しい学年幹事(S61、H8、H18卒)の約35名の参加者により、今回の集いに向けて意見交換を行いました。集いの講演者・企画など詳細につきましては今後決まり次第、随時知道会ホームページに掲載しますのでぜひご覧ください。

総務委員会では会員の集い実行委員会の企画運営のほか、平成30年の140周年記念事業も視野に入れつつ、今年も東京知道会との交流会をはじめとして地域職域の知道会や各委員会との連携強化をより図りやすくできるよう取り組んで参りたいと思っております。

親睦委員会

4月8日のミニ歩く会&お花見会は、雨天のため、歩く会部分は中止となりましたが、お昼頃、雨が霧雨に変わり、上がってきたため、護国神社境内でお花見会を挙行了しました。24名ほどの出席となりましたが、美味しいお食事を食べながら、和やかな時間を過ごすことが出来ました。

これからの予定として、知道会ゴルフ大会が6月17日土曜日に、サザンヤードカントリークラブで行われます。プレイフィーは昼食代で1500円です。パーティー費は親睦委員会が負担いたします。どうぞ、同学年の友達を誘い、奮ってご参加ください。

更に、9月9日には、知道会BBQ大会を阿字ヶ浦クラブで開催いたします。平成卒の皆さん中心の若いエネルギー溢れる楽しい会です。こちらもお友達をお誘いの上、ご参加ください。

詳しくは、知道会HP、フェイスブックの水戸一高・水戸中学同窓生の交差点(非公開グループ)に掲載されます。

これからも、楽しい企画で知道会の親睦を深めていきたいと思います。

親睦委員長 星野幸子

財務委員会

知道会は、会員の皆様の年会費により運営されております。平成30年に創立140周年を迎える母校への支援を一層充実させるため、是非とも年会費納入にご協力を賜りますようお願いいたします。

皆様の会費は、会員相互の親睦を深めるほか、「母校発展の助成」事業として、関東大会・全国大会などへの参加援助や歩く会支援、生徒海外派遣の助成など、母校の発展と将来ある在校生への支援に繋がっています。

知道会の運営が、母校の未来と同窓生のさらなる親睦に繋がるよう、皆様のご協力をお願いするとともに、会費納入にあたっては、金融機関口座振替のご利用を是非お願いいたします。口座振替をご希望の方には、事務局より振替依頼書を送付しておりますのでご連絡下さい。

また、母校創立140周年事業に対する募金につきましても、皆様の同窓会や地域、職域での集いの際には、よろしくお願ひ申し上げます。

第66期 知道会幹事会及び委員会名簿

顧問	後藤卓三(S19)、西野虎之介(S23)、角田芳夫(S28)、鈴木一弘(S52)
会長	鬼澤邦夫(S38)
副会長	稲葉節生(S38)、助川裕(S42)、中崎好文(S45)
幹事長	栗原英則(S48)
副幹事長	飯塚博之(S56)、深谷新太郎(S57)
総務委員会	*◎河野秀幸(S63)、*◎青木睦人(S56)、*◎倉田章吾(H3)、三上靖彦(S52)、黒木雅宏(S58)、橋本慎(S58)、竹村広治(H3)、住谷則昭(H4)、鹿志村茂(H5)、坪井正幸(H5)、齊藤修(H6)、加藤尚弘(H6)、川崎篤之(H8)、星野博史(H11)、細田明俊(H14)、住谷直樹(H14)、☆北澤佑子(H17)
財務委員会	*◎関田國作(S53)、*◎加藤一郎(S53)、*◎仲田留美(S63)、大金誠(S42)、皆川真規夫(S45)、太田聖史(S58)、☆出澤琢磨(H1)、☆坂本正弘(H1)、☆猪野嘉彦(H2)、☆坏なきさ(H3)、稲野知徳(H19)
名簿委員会	*◎水口二良(S47)、*◎後藤直樹(S54)、*◎☆加賀美理帆(S59)、伊藤道子(S53)、須能浩信(S60)、岡村有希子(H7)、岡村太郎(H7)、野村貴広(H7)、渡邊優美(H15)
広報委員会	*◎和田宏(S51)、*◎宮内寿子(S47)、*◎磯美保(S60)、内藤学(S53)、後藤岳志(S54)、森田真理子(S56)、平井夏樹(S56)、平山桂己(S59)、☆倉田敦子(S63)、鈴木圭輔(H5)、小林典子(H6)、高橋智子(H8)、海老澤佳之(H9)、和知忠道(H11)、菊地克仁(H13)
親睦委員会	*◎星野幸子(S57)、*◎君和田利智(S57)、*◎磯崎雄司(H1)、橘川栄作(S56)、菊地功(S57)、小澤一利(S58)、高橋淳子(S58)、高林憲一(S58)、黒澤広忠(S58)、原口哲也(S60)、海老根武(H2)、濱野正之(H4)、藤田奈津子(H13)、三村玲緒(H19)、☆加藤祐介(H19)
幹事	*☆鈴木克典(S51)、*☆関志志(S53)、*☆七字裕二(S51)、*☆小河原公男(S57)、*☆富田岳史(H8)、*☆石井健司(S56)
監事	篠原勉(S48)、☆小野瀬益夫(S51)
事務局	櫻井和郎(S43)、徳永美佳(S59)

() 卒業年次、* 幹事、◎委員長、○副委員長、☆新任

物 故 者 (H28.9 ~ H29.3 迄にご連絡を頂いた方を掲載しました。)

旧職員	森田 重弘	昭23中	田沼 一夫	昭29高	大山 修身	昭37高	鹿島 俊彦
大15中	永井 信雄	昭23中	寺沼 俊光	昭30高	森田 重弘	昭37高	宮内 賢
昭9中	高木 文秀	昭23中	鈴木(松本)美喜男	昭30高	中山 芳男	昭37通	澤島 信雄
昭12中	綿引 定一	昭23中	大島 實	昭30高	加倉井源蒼	昭38高	中野 昌広
昭14中	瀬谷 清	昭23併	神永 誠	昭30高	仲田 啓	昭38高	額賀 省三
昭14中	山中 高智	昭24高	江原 常男	昭30高	寺門 東男	昭39高	軍司紀久雄
昭15中	稲毛 孝也	昭24高	坂本 秀雄	昭31高	宇留野 清	昭40通	鈴木(木名瀬)一恵
昭15中	大森 忠俊	昭24高	藤田(橋本)四郎	昭31高	沢畑 禎志	昭41高	高瀬 勉
昭15中	嶋田 廣二	昭25高	神田 衛	昭32高	入江 宏	昭41高	木村 隆
昭16中	雨貝 忍	昭25高	鈴木 昌友	昭32高	清水 正博	昭43高	海老沢友子
昭16中	大内 信平	昭25高	関 達哉	昭32高	友部 隆吉	昭43高	川島 文雄
昭16中	岡野 良平	昭25高	水書 智照	昭32高	横倉 弘行	昭44通	豊島 昌三
昭16中	丹下 一男	昭25高	武藤 亮彦	昭33高	永山 俊弘	昭45高	岸 昌彰
昭17中	小野 省二	昭25高	吉田 久昭	昭33高	平沢 博	昭45高	根本 雄一
昭18中	稲見 邦	昭25高	関根 恒三	昭33高	山崎 弘道	昭45高	小林 和夫
昭19中	三瓶 悦雄	昭26高	大和田泰夫	昭33高	根本(坂本)征男	昭45通	大森(桜井)三郎
昭19中	鈴木 喬	昭26高	岡崎 彰	昭33高	田口 岩男	昭46高	岡野 俊彦
昭19中	飛田 修	昭26高	渡辺 茂昌	昭33高	都 義弘	昭46高	寺門 辰夫
昭19中	小田部長一郎	昭26高	倉本 忠	昭33高	諸沢 新一	昭48高	井上 修二
昭20中⑤	円崎 一雄	昭26高	武井(田沼)淳	昭34高	柿栖 実	昭49通	市毛キヨ子
昭20中④	小林 和夫	昭26高	五藤 彪	昭34高	鈴木 次男	昭50高	森田 茂
昭20中④	深谷 光治	昭27高	大須賀壮介	昭34高	若林 元	昭53高	藤崎(藤崎)直子
昭21中	入江 邦夫	昭27高	野々山一彦	昭35高	弓野 健次	昭54高	武藤 浩一
昭21中	梅原新八郎	昭28高	高橋 龍雄	昭35高	大槻 晴重	昭57高	鈴木 康史
昭22中	浅野 操	昭28高	須関 勉	昭36高	安藤 靖	昭59高	久保 雄之
昭22中	大森 藤昭	昭29高	竹内 邦彦	昭36高	八木 誠一	昭59高	鈴木 幸夫
昭23中	兼子 孝雄	昭29高	吉田 潤司	昭37高	阿南洋一郎	昭63高	田所満美子
昭23中	栗田 悦二	昭29高	八木沢正義	昭37高	小川 知二	平9高	石津亜希子

【事務局から】

プラタモリのタモリさんと家族に乾杯の鶴瓶さんが立て続けに本城橋を渡って水戸一高を訪れました。大手門から本城橋の道路が整備され多くの方が見学に来ております。6月24・25日は第69回学苑祭が行われます。会員の皆様も大手門から歩きながら本城橋を渡り後輩たちの様子を見に来てはいかがでしょうか。

学校基本データ

学校創立	1878年(明治11年10月2日)
平成29年	創立139年
同窓会員数	38,147人(平成29年4月現在)
住所判明者	21,588人
在籍生徒数	970人(男子548人 女子422人)